2017年6月～7月実施
食物アレルギーへの緊急時対応
体験型出前セミナー

2017年6月～7月にかけて、「食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナー」を実施しました。本セミナーでは、宮城県内の小児アレルギーエデュケーターの鈴木看護師（こども病院）、村上看護師（こども病院）、高橋看護師（森川小児科アレルギー科クリニック）に協力を仰ぎ、支援学校1校・保育園3施設・幼稚園1施設の計5施設に訪問し、計156名の教職員の方に受講いただきました。

支援学校では、食物アレルギー・アナフィラキシー症状について学んだ後に、小学部・中学部・高等部に分かれ、症例を基にロールプレイを実施しました。食物アレルギー症状の場面に遭遇した際の連携について実際に動いてみることで、教員間の連携や情報共有が重要だと実感したようでした。

保育園では、資料とビデオ教材を用いた座学を行った後に、エピペン®トレーナーを使用し、打つ場所の確認や連携について確認しました。エピペン®トレーナーに初めて触れた受講者も多く、打つ感覚を経験できたことは有意義なものとなりました。

また、幼稚園で開催された講習会では、スキルスラボの今井浩之先生、荒田悠太郎先生の指導の下、小児の心肺蘇生法も実施しました。演習をすることによって、不安に感じていた部分を解消できた受講者が多かったようです。

受講者からは、これからも継続的に自分でも学習を深めていきたいといった意欲的な声が聞かれ、今後に繋がる充実した講習会となりました。

6月2日（中江保育園）

6月16日（光明支援学校）

6月29日（エスパルキッズ保育園）

7月1日（上飯田くるみ保育園）

7月20日（双葉幼稚園）